

# CS だより

日本キリスト教団逗子教会

牧師 小宮山剛

校長 渡辺 信

## 聖書のことば

『聞くだけで行わない人は、土台無しで家を建てる人のようだ。』

ルカによる福音書 6章 49節

ある新聞に掲載された一コママンガに、「貧しい国で飢えて死んでいる子どもたちの映像を見て、涙を流しながら、豪華な部屋でソファーに座っている婦人」というものがありました。私たちはいくら良い話を聞いて感動しても、自分の行動や生活が変わらなければ、意味がありません。福音書に書かれているイエス様の言葉やその行いも、私たちが人として「どのように生きて行くことが大切か?」、「何をなすべきか?」ということ、具体的に示してくれています。それを実行するならば、みんなが幸せになれる、という教えです。だからそれを実行しないならば、何の意味もないのです。 (『イエスのことば100』より)

今年は、真夏と梅雨が交互に来るような、おかしい気候が続き、今度は酷暑と豪雨……。コロナ感染の拡大もあり、みなさんは、どんな夏休みを過ごしているのでしょうか? 逗子教会では、7月に予定していた『お楽しみ会』を、残念ながら中止にしました。昨年に続く中止で、私たちも、せっかく準備していたのに……。とガッカリしました。でも、神さまは、もっと良いことを、私たちのために用意してくださっている、と信じ、今できることを一生懸命やることにしました。

今、分級では、お楽しみ会で作る予定だった、虹の絵と生き物たちを作っています。ナルドクラスの子ども達は大きな紙に絵の具で描き、オリーブクラスの子ども達は紙粘土でかわいい動物を作っています。そして完成したら記念写真を撮ります。是非参加してください。



8月4日の説教から 『過越しの小羊』

聖書： 出エジプト記 12章 21-23節

今日のお話は先週に続いてモーゼさんのお話です。

ところで先週から読んでいる聖書のタイトルは「出エジプト記」といいます。これはエジプトにいるイスラエルの人たちが、エジプトから出ていくという意味です。まさに今日の聖書の箇所に出エジプトから出ていく出来事が描かれています。どのようにしてエジプトから旅立ったのでしょうか。皆さんが逗子を出て旅に出るとき、おそらく家族やお友達に「行ってきます」といって出ると思いますし、残る人は「行ってらっしゃい」というと思います。しかし、イスラエルの人たちの旅立ちは、そんな穏やかなものではありませんでした。なぜなら、イスラエルの人たちは、エジプトの国で奴隷として働かされていて、エジプトの王様（ファラオ）がイスラエルの人たちが出ていくことをゆるしてくれなかったからです。そのため神さまはエジプトの国に何度も良くないことを起こします。たとえば、川の水が血に変わってしまったり、国中に蛙やぶよ、あぶ、いなごといった昆虫が大発生したり、疫病がはやったり、雹が降ったりします。しかし、そのたびにファラオは心をかたくして、イスラエルの人たちがエジプトから出ていくことをゆるしてくれませんでした。

そしてついに最後の良くないことが起きます。それは、ある夜、エジプトの国中の初子（う

いご：その家で最初に生まれた子ども）をすべて殺すという恐ろしいものです。その時、神さまはイスラエルの人たちを守るために、その家がイスラエルの人たちの家だとわかるように、家の鴨居と柱に小羊の血を塗るようにと命じたのです。それが今日読んだ聖書の箇所です。

（カード）小羊の血により、エジプトに起きた最後の大きな災いはイスラエルの人たちを通り過ぎていきました。ですから、今日のお話のタイトルは「過越しの小羊」となっています。この



の出来事によりイスラエルの人たちはやっと、エジプトを出ていくことができました。壮絶な旅立ちです。イスラエルのひとたちは神さまが守ってくださったことで災いが過ぎ去ったことを忘れないよう毎年記念日として過越祭をお祝いします。

ところで、エジプトからの旅立ちのとき、小羊の犠牲と、鴨居と柱に塗られたその血によって神さまがイスラエルの人たちを守ってくれた出来事は、ずっと後のイエスさまにつながっていきます。すなわち、犠牲になった小羊はイエスさま、血を塗られた鴨居と柱は十字架です。過越の夜に神さまがイスラエルの人たちを守ってくれたように、今の私たちはイエス様の十字架によって罪から救われているのです。ですから、この過越の出来事は、イスラエルの人たちのためだけの過越ではないということです。

今日のお話の最初に出エジプトというのは、エジプトを出ていくという意味だとお話をしました。エジプトを出たモーゼさんたちはどこに向かったのでしょうか、また、どのような旅をしたのでしょうか。来週以降の礼拝のお話を楽しみにしてください。<Y. Y>

CS 礼拝のYouTube配信はこちらから→



## CS スタッフです どうぞよろしく

{今回は、青木尚美さんによる他己紹介です}

鈴木康子さんを紹介します。

逗子教会にいられて間もなく、こひつじクラスのスタッフに参加してくださいました。楽しいアイデアをたくさんお持ちです。

手先も器用で、押し花を用いて素敵なカードを作られます。

“食”をととても大切にして、身体のことを常に気を付けておられます。

お家では、二人のお孫さんの、良きおばあちゃまです。

[こひつじクラス担当]



## これからの予定

### 8月21日(日)10:30～ 逗子教会の創立記念礼拝

逗子教会は、1948(昭和23)年8月15日に、第1回目の礼拝をしました。

出席者は5人でした。

今年は、74回目の誕生日を迎えます。この日の10時半からの礼拝は、佐藤千郎牧師の説教です。

CSの礼拝は、いつも通り、9時から行います。

### 9月18日(日)10:30～ 敬老祝福礼拝

礼拝の中で、77歳以上の方のお祝いをします。

その時渡すカードを、CSの分級で作ります。

みんなのおじいちゃんおばあちゃんの分も作りましょうね。

CSの礼拝は、この日もいつも通り、9時から行います。大先輩の教会員の方がお話をしてくださいます。



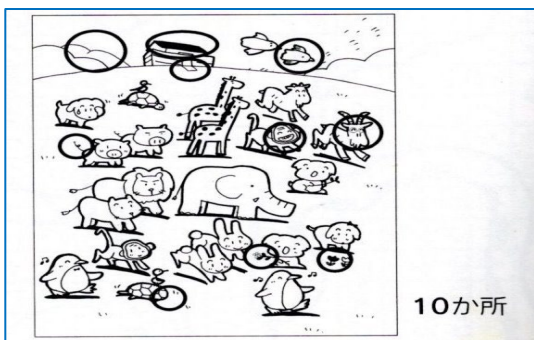
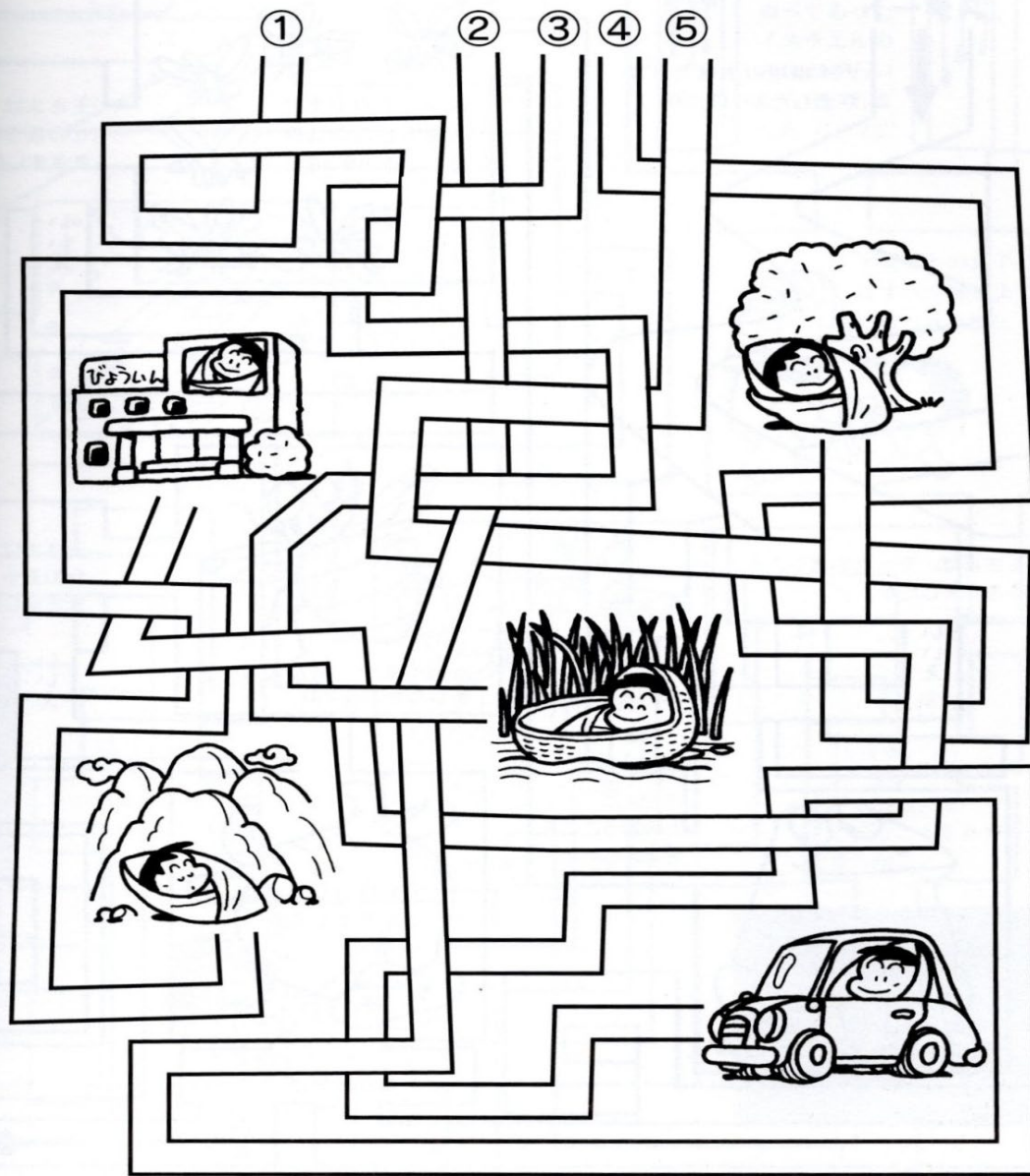
# 挑戦しよう!

正解は9月号

## かくした赤ちゃん

出エジプト記2章1～10節

モーセは赤ちゃんのとき、どこにかくされましたか。正しい場所に行ってください。



←7月号の答